

①

Q 市役所まで行くのが不便なので、循環バスの本数を増やしてほしい。

A (建設部長)

交通弱者と言われる高齢者、障がい者の方や、市内公共施設を利用される方などの利便性を図るため、市民の方が利用しやすいバスを目指して運行状況の検討に努めたいと思います。

②

Q 企業誘致だけでなく、自然環境や農地の確保をお願いしたい。

A (まちづくり環境部長)

農地については、農業振興地域整備計画により優良農地を守っていきます。土地利用構想にもありますが、利便性の良いところは企業誘致を進め、田園地帯や緑地などの自然環境は守りながら、計画的な土地利用を図っていききたいと思います。

③

Q 地域包括支援センターの設置か所が4か所になっているが、水谷東地域はどこに含まれるか。

A (健康福祉部長)

市内を4つの生活圏域に分け、この地域は水谷東・東みずほ台・水子からなっている圏域に含まれます。高齢者の人数は1つの圏域で4,000人から5,000人となっています。水谷東地域には、公民館に介護予防施設があり、小学校に放課後児童クラブがあって、同じ地域内で収まっていますが、包括支援センターはもう少し広い地域になっています。

④

Q 太陽光発電システム設置の補助金について、市内業者利用の場合、補助金優遇の考えはないか。

A (まちづくり環境部長)

市内業者の利用による産業振興への貢献という面も考えられますが、国・県の動向も踏まえて詳細は今後検討していきます。

A（総合政策部長）

太陽光発電システムの設置が市内業者だけで対応できるかどうかという点や、補助金の優遇については検討していきます。

⑤

Q リブレーヌ都市整備事業は水谷東地域にとって大きな事業となっている。30年前から計画があるが動きが見えない。実現すれば素晴らしいことであり、大変関心があるが、現在の見通しはどうか。

A（まちづくり環境部長）

遊水地と住宅を融合する目的で昭和の時代から取り組んでいますが、水子・諏訪地区の市街化区域再編入を優先的に進めていたため、リブレーヌ都市整備事業は進んでいませんでした。ここで、水子・諏訪地区の市街化への見通しが立ちましたので、国道沿いの利便性の高い地域であるという利点を活用して、事業を進めていきたいと考えています。

⑥

Q 水谷東地域に子どもの遊び場を設けるために土地の確保をするような計画があるか。

A（まちづくり環境部長）

大きな公園ができないところは、ちびっこ広場や借地による整備などに努めています。住宅地の中では制約があり土地の確保が難しい状況ですが、要望として受とめたいと思います。

⑦

Q 土地利用構想図では南北に抜ける幹線になっているが、形になるのはいつ頃の予定か。

A（まちづくり環境部長）

都市計画道路の水子鶴馬通線については、みずほ台地区はすでに整備が完了しておりますが重要な幹線道路ですので、その先についても早期の整備実現に向けて進めていきたいと考えています。浦和所沢線の柳瀬川付近は富士見橋まで都市計画道路ですが、水子・諏訪地区の市街化区域再編入に伴い計画を進めていきたいと考えています。

⑧

Q 夏休みに子どもと高齢者が一緒にラジオ体操をしようという計画があったが、子ども達がラジオ体操を知らなかった。地域の子どもと高齢者のコミュニケーションの

手段としてラジオ体操を学校で教えたらどうか。

A（教育長）

学校では、教員の指導によりストレッチや柔軟体操を行い、運動会では種目の一つとしてラジオ体操を披露している学校もあります。ラジオ体操が地域コミュニティを進めるひとつの機会になることを踏まえて、検討したいと思います。

⑨

Q 災害時要援護者支援事業で現状の登録者数が入っていない。水谷東地域では平成18年度から取り組み、登録者数も相当数いるが、行政では水谷東の取組みをどう位置付けているか。

A（健康福祉部長）

この事業は、全市で取り組めるシステムとして、体制、対象者、登録方法、管理方法などの全体計画となっています。水谷東地域では先進的に取り組まれていることを認識しておりますが、全体計画での登録はこれからということで、現状の登録者の欄には数字が入っておりません。登録者の人数は、要介護者数の1,700人程度を想定しています。

Q 全体の足並みを揃えるのは大変で時間がかかる。災害は待ってくれないので、体制が整ったところから始めたらどうか。

A（市長）

市全体でみると各地域の状況が違いますので、条件の整ったところから始められるよう検討したいと思います。

⑩

Q 水谷東地域にとってこの計画で何か喜ばしいことはあるか。

⑩-1

Q 水谷東地域に関することでは、公民館のエレベーター設置、ホールの増築という計画があるが、いつまでにという予定があるとわかりやすいのではないか。

A（総務担当教育部長）

公民館については、現在127.5㎡あるホールを外通路を確保しつつ20㎡程度広げる予定です。エレベーターの設置については、どこに設置すべきか難しい問題がありますが、高齢化に対応するため、市民のみなさんと相談しながら設置場所の検討をしたいと考えています。水谷東小学校については、トイレの洋式化を計画的に整備

することや、体育館の放送設備を更新していく予定です。

A（副市長）

今後5年間の前期基本計画に載せていますが、具体的には実施計画で策定していきます。

A（建設部長）

その他、この地域に関することとして、水谷東地域に隣接する志木市に大型商業施設ができるため、水谷中学校、水谷東小学校前の道路の交通量が増えると予測されます。そのため交通安全対策として、手押し信号の新設、信号機の新設などの工事を来年度から予定しています。

⑪

Q 学校の図書室の本が整備されていない。国から図書費が支給されていると聞いているが、当市の予算はどれくらいか。

A（学校担当教育部長）

1校につき、小学校は約30万円、中学校は約40万円の予算となっています。これまでは学校図書の基準冊数に沿って不足ないように整備してきましたが、今後は内容を充実していきたいと考えています。

⑫

Q 川の清掃を町会で行っているが、雨が降ると元の状態に戻ってしまう。川の浄化を目指して作業は町会で行うので、ヘドロを掃除する道具はないか。

A（建設部長）

旧暫定逆線引き地区は公共下水道の整備が遅れているため、旧新河岸川の水質汚濁や臭いの原因となっています。清掃については、業者委託による作業を検討しています。

⑬

Q 火災の発生に備えた啓発を人が集まる場所で行ったらどうか。

A（建設部長）

現在、消防法では既存住宅であっても火災報知器を設置する義務があります。万一火災が起きたときは火災報知機が設置されていれば早期発見につながりますので、台所、寝室などに設置するよう努めていただきたいと思います。

⑭

Q 前期基本計画を実施すると財政的にどれくらいかかり、国・県からはどれくらい交付があるのか。現時点では漠然とした計画になっているが、今後、具体的な説明の予定があるのか。

A (総合政策部長)

最近の予算規模は国からの補助などを含め約250～260億円ですが、財政健全化を維持するため年々減らしています。当市は県内他市と比べると、法人市民税、固定資産税が少ない財政構造で地方交付税に頼ってきました。国も膨大な赤字を抱えており、いつまでも交付税に依存できず、また市税も伸び悩む傾向にあるため、産業の誘致や商業の活性化により自主財源の確保に努め、赤字にならないよう計画を進めていきたいと考えています。

今後の具体的な説明については、計画の中にもタウンミーティングとありますが、地域に出向いて説明し、市民のみなさんと情報を共有して市民のみなさんとの協働による事業を進めたいと考えています。5ヵ年の前期基本計画は社会情勢の変化に併せて3年目で見直しを行いますが、この見直しの際も意見交換をしたいと考えています。